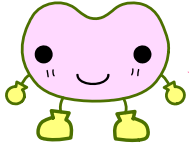


こころん推進NEWS

特別号
H22年1月

～計画推進ニュース～



～こころんねっと新春対談～（1月6日）
区役所の区長・総務課長と原田先生との対談を
実施しました！！

<対談のテーマ>

区役所の「区政運営方針」と
区社協の「地域福祉活動計画」との連携について

現在、「住みつづけたくなる昭和区づくり」を目指して、区役所では毎年「区政運営方針」を定めて区政全般で体系的な取り組みを行っています。

一方、社協でも「誰もが住みよい福祉のまちづくり」を目指して、平成21年度からの5カ年計画である「第2次区社協地域福祉活動計画」を推進しています。



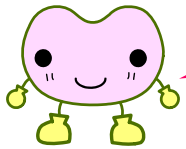
この別々に作られた計画が、どう絡み合ってくるのか？こないのか？そこを明確にするために、区政全般の舵取り役である市川区長さんと、区政運営方針の策定と進行管理の中核を担っている大岩総務課長さん、そして、区社協地域福祉活動計画策定指導者である日本福祉大学の原田准教授とで、対談をしていただきました。

その結果、両者はそれぞれの立ち位置はあるにしても、「区民の目線に立てば、両者は別々に進行するのではなく、密接に連携しなければならないことは明白である」等々との結論に達しました。



詳しい内容は社協情報紙
「こころんねっと2月号」に掲載されます。
お楽しみに！
(ちなみに、この対談は、
区役所福祉部のご支援
によって実現しました。)





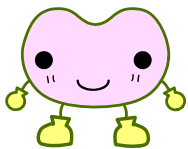
各プロジェクトチームの検討状況を、理事会・評議員会に報告しました。

12月16日(水)の理事会と、21日(月)の評議員会で検討状況を報告しました。

理事からの主な発言としては、「各プロジェクトチームで検討をし、新しい取り組みを種々始めると説明であるが、地域の中では、すでに多くの方々が有意義な活動をしておられる。まずは、その方々の活動をしっかりと認識すべきである。そのうえで、今後さらに福祉の隙間を少なくしていく取り組みを新たに展開するということか？」という質問がありました。

まさに、そこを目指していることと、既存の活動者(先駆者)の方々にも役立つ福祉情報の提供などにも努めていきたい旨を補足説明しました。

今後も定期的に報告し、ご意見をいただきたいと思っています。

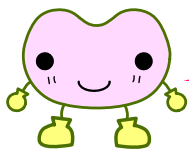


**区社会福祉協議会の2階に、
こころん推進ニュース掲示場所を
作りました！！**

各プロジェクトチームの検討状況を、随時、一般の会館利用者の方々にも見ていただけるよう、2階ロビーに

「こころん推進ニュース」の最新版とバックナンバーを掲示することにしました。

ぜひ見ていただき、ご意見をいただければうれしいです！



**昭和区社協の計画を、市社協や他区の社協にも
アピールしました！！**

1月22日(金)の、名古屋市社協主催「地域福祉推進実践発表会」において、サービス提供責任者の谷口主任と、計画策定・推進担当の野川主事の両名から、計画関連項目の実践報告を行い、会長賞をいただくことができました。

みなさまと一緒に進めてきた計画の推進が評価されたことを喜ぶとともに、事務局として今後も一層気を引き締めて努力していきたいと思ひます。

(今号の文責：柏)